

管理所レビュー VOL.06

(R4.7.8 水源林管理所)

令和4年度、第6回のボランティア活動が、6月25日(土)に予定どおり実施されました。

当日は、最高気温27度、この時期の道志村としては大変むし暑い日となりましたが、予定どおり間伐作業を実施することができました。

今後も気温が上昇すると、熱中症対策とともに、危険な野生生物による被害への対策が必要となってきます。

先週には村内の方が地バチ(黒スズメバチ)に刺される被害が報告されています。

熱中症及び危険な野生生物に対する備えなどについて後記してありますので、参考にしてください。それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 活動当日の様子



夏空に映える鳥の胸山。



準備体操をしっかりと！



気を付けて、いってらっしゃーい！



始まりの会で体調確認！



ロープの引手は伐倒木を見て！



木回しを活用しましょう！



材の運搬は無理せずゆっくりと。複数人で協力して！



材の状況によっては下切りを！



ノコギリの挟まれに注意。



危険な滑り落ちの防止処置を。



小径木の運搬も協力して。

2 熱中症に注意しましょう！

今年は史上最速の早さで梅雨が明け、今後は全国的に平年より厳しい暑さの夏になるとの予報が出ていますので、熱中症に対する備えを万全にしてご参加ください。

間伐地は、陽射しは遮られますが、風が通りにくいというえ、傾斜地の上り下りや重量物の運搬、長袖の作業服やヘルメットの着用など、熱中症を引き起こす要因が様々ありますので注意が必要です。



◆熱中症の予防対策

- ① 活動日前日は、早めの就寝や飲酒を控えるなどして、体調を整えてご参加ください。
 - ② 服装は、透湿性、通気性の良いものを身に付けてください。
 - ③ 作業中は積極的に水分と塩分を摂取し、適度な休憩を取ってください。
- ※ 体調が悪くなった時は、我慢や無理をせず、すぐに周りの人達に知らせてください。
また、インストラクターの方は、管理所職員に報告をお願いします。

3 危険な野生生物から身を守りましょう！

道志村は自然豊かであるがゆえに、様々な野生生物が生息しています。

特にこれからの時期は、気温の上昇とともに、ハチやブヨ、蚊、マダニ、ヤマビル、マムシなどが活発に活動を始めますので、身を守る対策を行いましょう。

◆野生生物による被害対策

- ① 長袖、長ズボンを着用し、皮膚の露出をさげ、袖や裾・襟首もしっかり締める。
- ② 虫よけスプレーを適宜使用する。
- ③ 休憩中などは、敷物等を用いて直接地面に腰を下ろさない。
- ④ ハチの巣やマムシなどを見つけたら、決して近づかないで、管理所職員に報告をお願いします。



ヤマビル



キイロスズメバチ

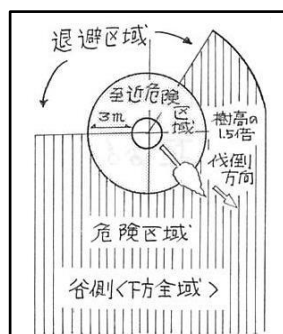


マダニ

4 伐倒時の退避について。

伐倒木近くにいる切り手やその他の作業者は、受け口を切り始める前に必ず退避場所の確認を行い、伐倒前には確実に退避を行ってください。

また、退避した後も伐倒木の跳ね返りや折れた枝などの飛来が考えられますので、十分注意してください。



「伐木造材作業者必携より一部抜粋」

※ 次回、7月9日（土）は、曇り、最高気温 29 度の予報となっています。

★それでは次回7月9日、気をつけてお越しください。